

株式会社 **MORESCO**

地球にやさしいオンリーワンを世界に届けるMORESCOグループ

第1四半期業績の概要

(2022年3月1日～2022年5月31日)

東証プライム 5018 (石油・石炭製品)

2022/7

当期の経営環境（1）

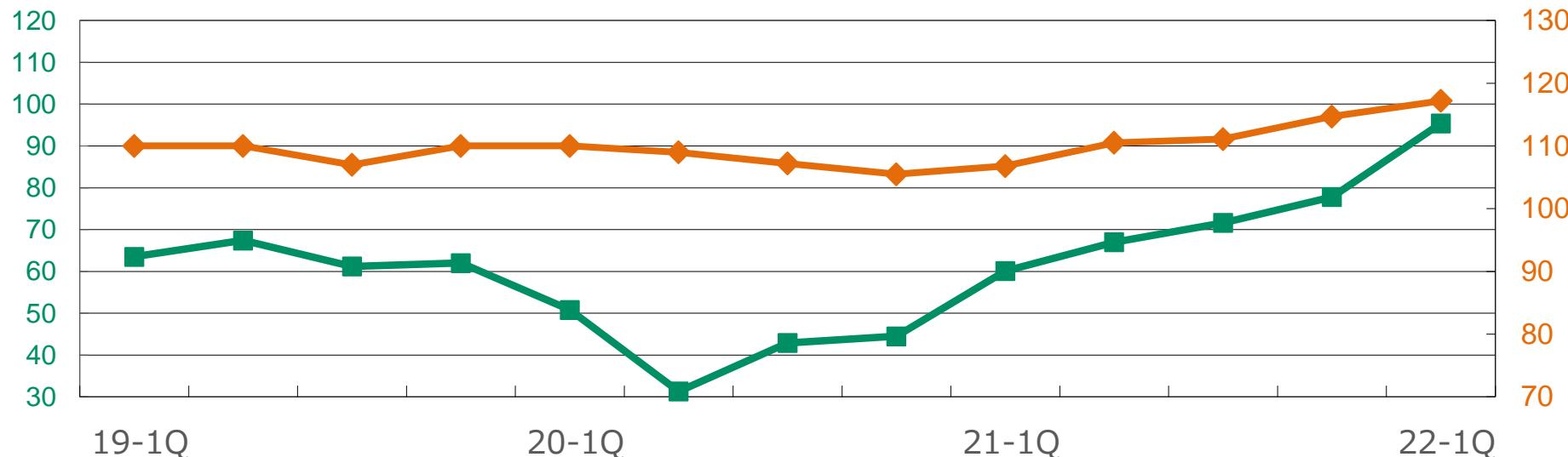
moreesco

\$/b

ドバイ原油価格

為替

¥/\$



千円／kL

国産ナフサ価格

80

20

19-1Q

20-1Q

21-1Q

22-1Q

当期の経営環境（2）

moresco

出典：マークライズ社

当社拠点所在地域における自動車生産台数

単位：万台

1,400

1,200

1,000

800

600

400

200

0

20年1Q

21年1Q

22年1Q

東南/南アジア

米国

中国

日本

156

252

347

178

208

249

201

635

1,293万台

179

247

220

648

1,293万台

注)

①日本は3～5月で、海外は1～3月で集計

②東南/南アジアはタイ、インドネシア、インドを集計
(当社製造販売拠点所在地)

Copyright © MORESCO Corporation All Rights Reserved.

決算概要 連結損益計算書

moreesco

- 製品販売価格是正により増収となったものの、原材料価格の更なる上昇により利益率は低下

単位：百万円

科目	21 / 1Q	22 / 1Q	前年同期比
売上高	6,656	7,050	+5.9%
売上総利益	2,324	2,053	△11.7%
販管費	1,805	1,852	+2.6%
営業利益	520	201	△61.4%
営業外損益	202	271	+34.2%
経常利益	721	471	△34.7%
特別損益	833	—	—
税引前利益	1,555	471	△69.7%
当期純利益 (※)	1,095	317	△71.0%

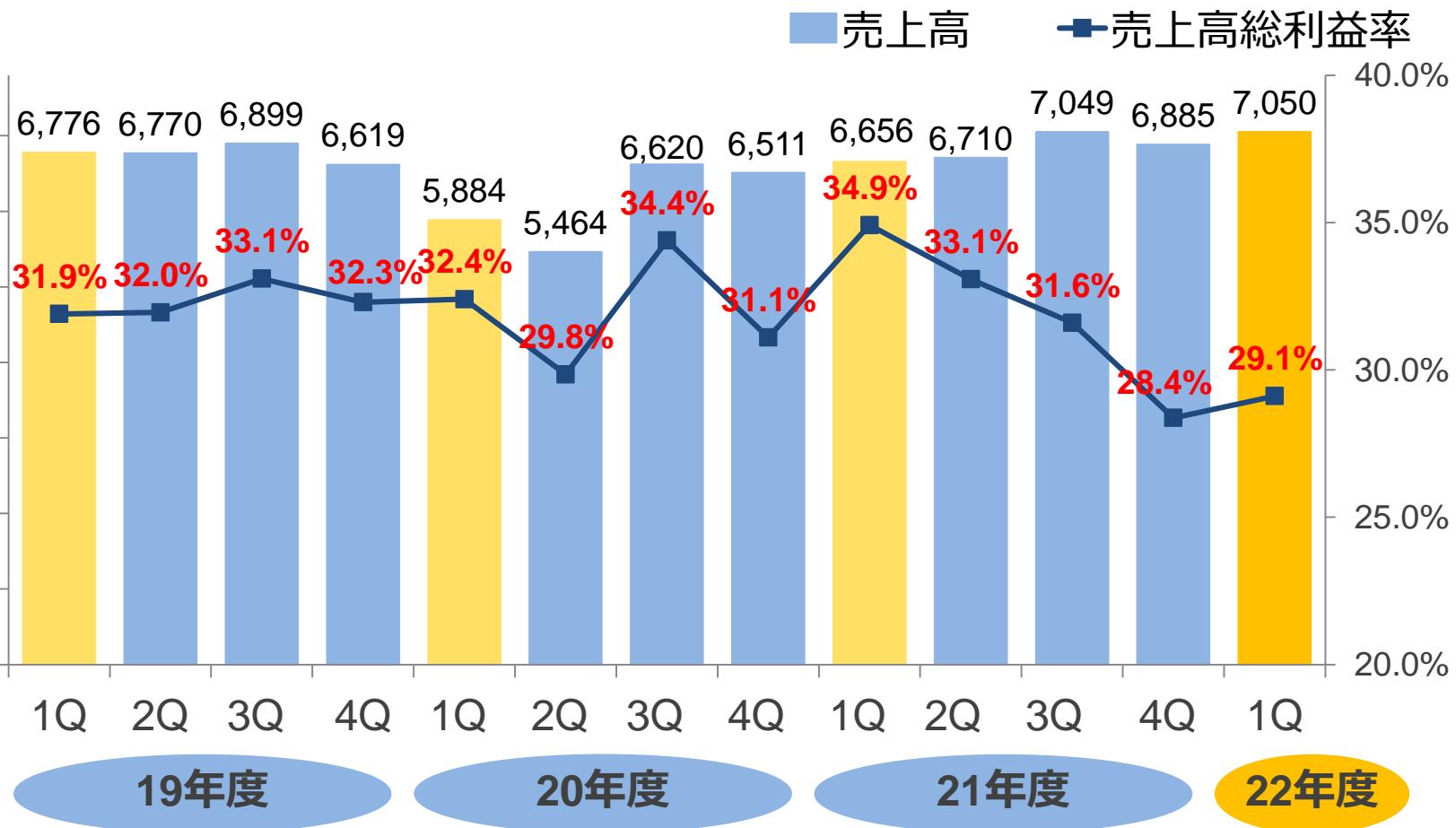
(※) 親会社株主に帰属する当期純利益。以下同様。

売上高、売上総利益率の推移

moreesco

- 前2Q以降の粗利率の低下に歯止めがかかった状況

単位：百万円



部門別売上高の内訳

moreesco

単位：百万円

科目	21 / 1Q	22 / 1Q	前期比
特殊潤滑油部門	3,083	3,420	+10.9%
合成潤滑油部門	503	502	△0.1%
素材部門	807	902	+11.9%
ホットメルト接着剤部門	1,671	1,809	+8.2%
その他	584	417	△28.7%
化学品事業計	6,648	7,050	+6.0%
ビル事業	8	—	—
売上高合計	6,656	7,050	+5.9%

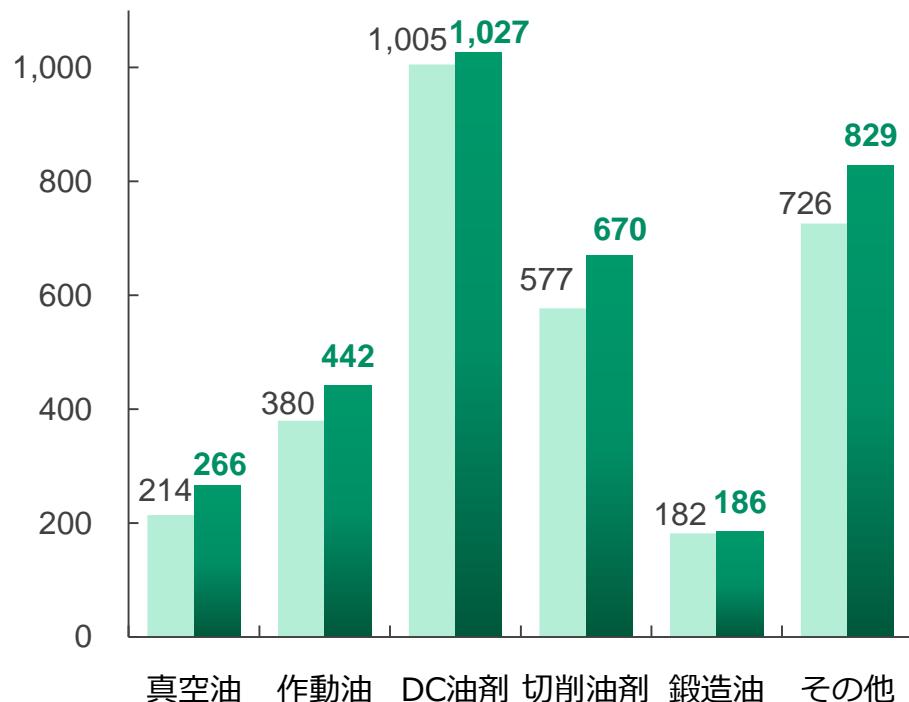
当期の実績（特殊潤滑油部門）

moreesco

- 部門全体の売上は前年比10.9%増（3,420百万円）
数量は2.3%増

単位：百万円

■ 21年1Q ■ 22年1Q



- 数量では、ダイカスト用油剤の出荷減を高真空ポンプ油の需要回復や切削油剤の新規拡販がカバー
- 販売価格は正により、単価は上昇

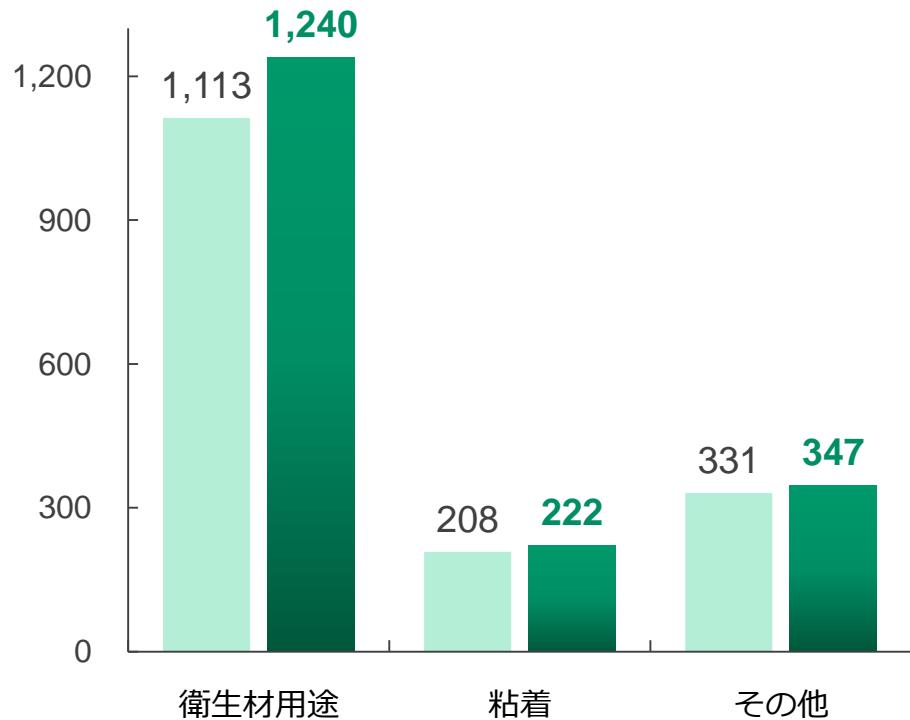
当期の実績（ホットメルト接着剤部門）

moreesco

- 部門全体の売上は前年比8.2%増（1,809百万円）
数量は5.9%増

単位：百万円

■ 21年1Q ■ 22年1Q



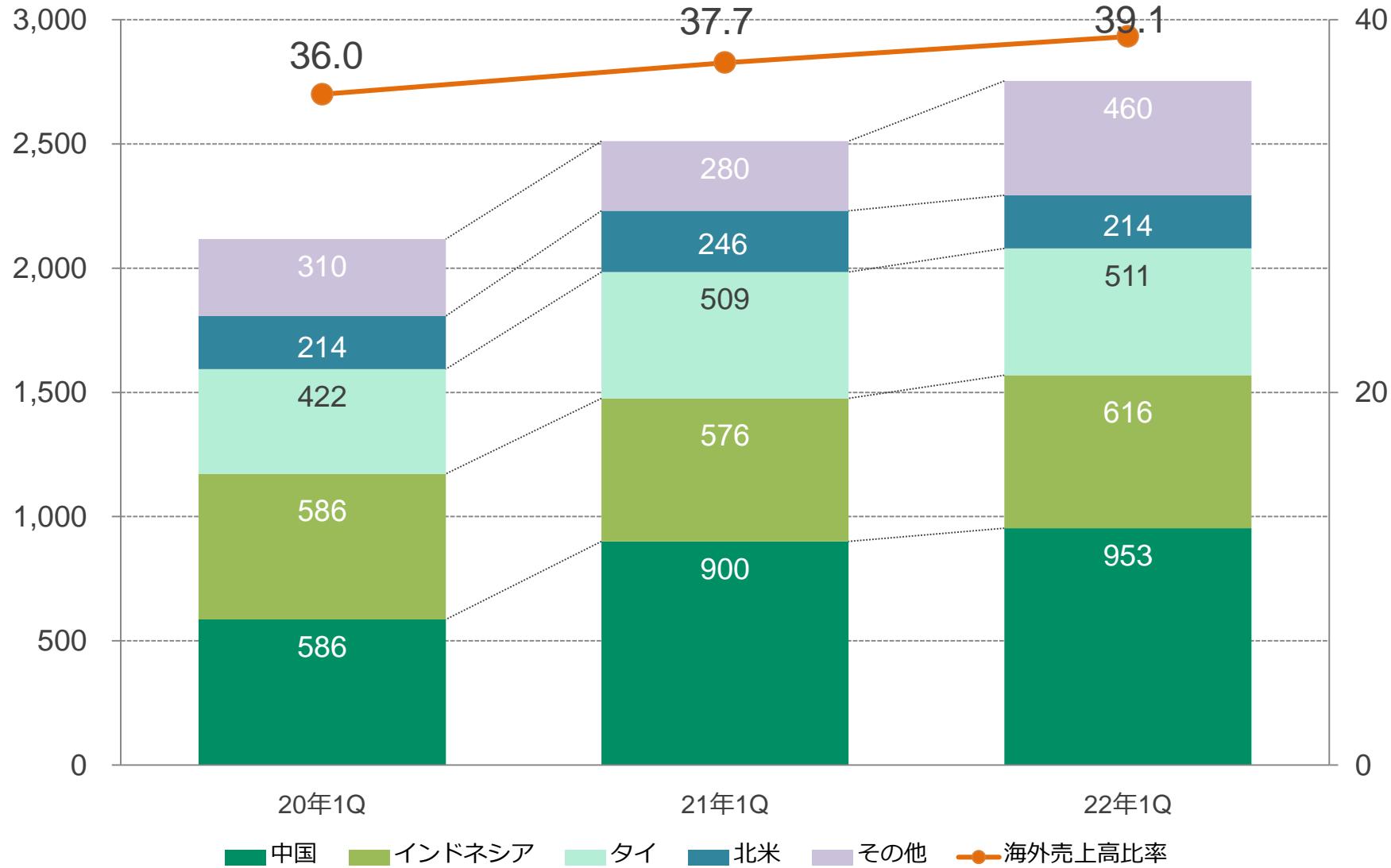
- 衛生材料は、日本における需要回復、インドでの出荷増により增收

海外売上高（連結）

moresco

単位：百万円

単位：%



2022年度 連結業績予想

moreesco

単位：百万円

科目	2022年1Q	2022年度 通期予想	進捗率
売上高	7,050	30,500	23.1%
営業利益	201	1,850	10.9%
経常利益	471	2,200	21.4%
当期純利益	317	1,300	24.4%

持続可能社会の実現

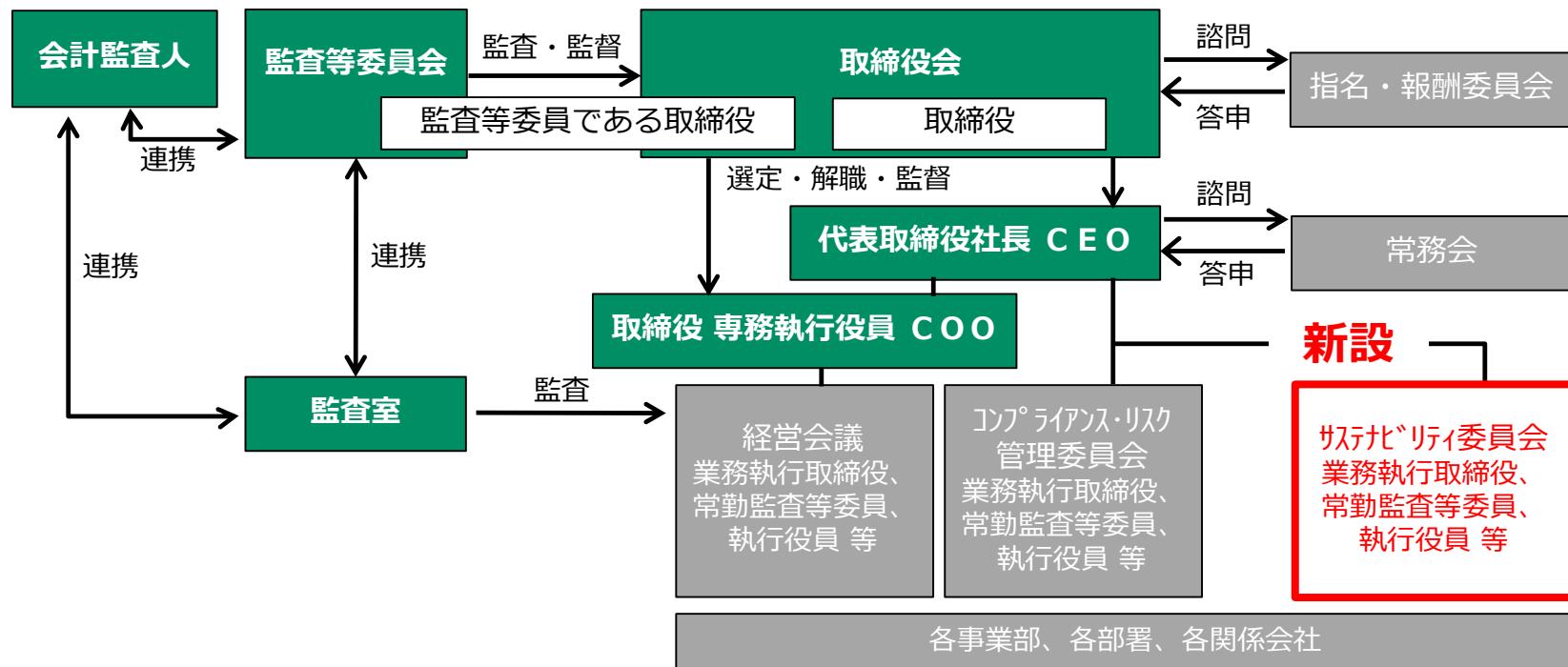
サステナビリティ基本方針&推進体制

moreesco

▶ 基本方針の制定

MORESCOグループは
経営理念にある境界領域のスペシャリストとして、
「持続可能社会の実現」と「中長期的な企業価値の向上」を両立させつつ事業を運営して
ステークホルダーの信頼を高めるとともに、社会課題や環境課題の解決により一層貢献するべく、
サステナビリティ活動を積極的に推進します。

▶ 推進体制の構築



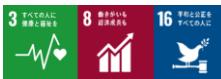
7つのマテリアリティ（重要課題）

moreesco

▶ 5つの事業活動関連と2つの社内基盤関連で構成され、2030年に向かって着実に前進

事業活動に関する
重要課題

社内基盤に関する
重要課題

マテリアリティ	関連するSDGs	目指す取り組み
環境負荷低減の実現		<ul style="list-style-type: none">より長寿命で、廃棄物や環境負荷が少ない製品の開発潤滑油や容器等のリサイクル推進生産プロセスにおけるCO2排出量、廃棄物、排水量の抑制環境に配慮した製品供給再生可能エネルギーの推進、エネルギーの省力化
革新的な製品、サービスの開発		<ul style="list-style-type: none">「環境分野」「情報関連分野」「エネルギーデバイス分野」を中心とした既存分野での技術革新に貢献新たな分野の開拓
技術革新による新たな価値創造と生産性の向上		<ul style="list-style-type: none">新たなビジネスモデルの構築デジタル技術を活用し、生産効率の最適化と環境負荷の最小化を実現事故やトラブルの防止や労働負担軽減による安心・安全・快適な労働環境の実現
サプライチェーン強靭化による持続的な安定供給		<ul style="list-style-type: none">原材料の安定調達人権や原料由来を考慮した調達供給体制の強化BCP体制整備の加速研究機関等との共同研究により、イノベーションを創出材料メーカーや販売代理店等とパートナーシップを結び、共通課題を達成地域社会との価値共創とCSR活動の強化
パートナーシップの強化		<ul style="list-style-type: none">グローバルやデジタル分野などで活躍できる人材の育成女性人材の登用人的資本の強化・成長を促す評価制度や研修制度ワークライフバランスの向上社員の健康促進DE&I（多様性・公平性・包摂性）重視の企業文化人権を重視した職場環境の整備ハラスメントのない職場業務プロセスの見直し
多様な人材の育成と登用による人的資本の強化		
心身ともに充実でき、人権を重視した働き方の実現		

脱炭素の取り組み

moresco

- **2030年**まで自社消費エネルギーによるGHG排出の**46%削減**（2013年対比）
- サプライチェーンを含め、**2050年**までに**カーボンニュートラル**を実現

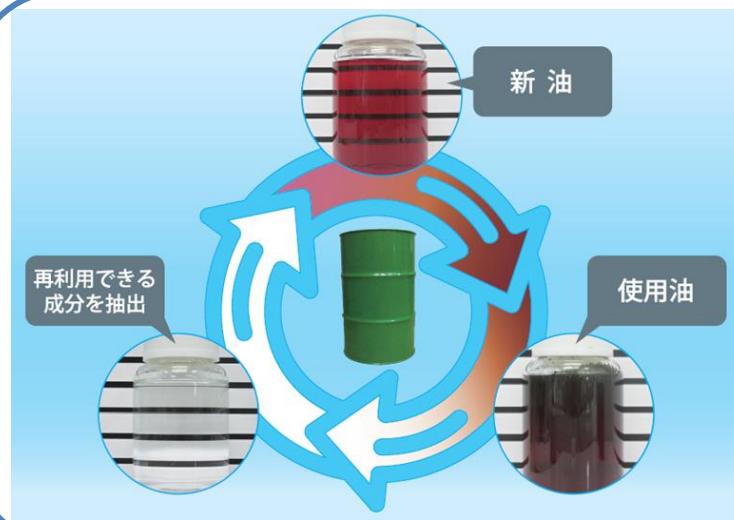


サーキュラーエコノミーへの取り組み

moreesco

従来の取り組み

- 古くなった水-グリコール系作動液から、劣化した添加剤（全体の20%）を除き、残りを原材料に再投入



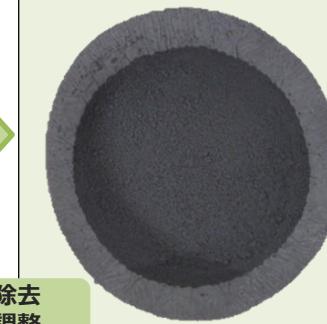
新たな取り組み

- 使用後の粉体離型剤を再利用
- 潤滑油におけるリサイクル原料の使用拡大

回収粉体



再利用



事業活動-環境負荷低減の実現

MORESCO

ガス・水蒸気透過度測定装置

MORESCO-SuperDetect マルチチャンバータイプ

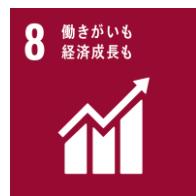


- 複数のサンプル測定によるオペレーターの負荷低減
- バリアフィルムの性能測定により、食品・医薬品の品質向上に寄与
- 燃料電池向けに水素透過に特化した測定装置を新たに開発し、水素社会への貢献につなげる



新装置：4チャンバータイプ

性能	新装置	既存装置
試料室数 (チャンバー数)	◎ (4チャンバー)	○ (1チャンバー)
測定感度	○ ($\sim 3 \times 10^{-5}$)	◎ ($\sim 1 \times 10^{-6}$)
測定効率 (10^{-3} オーダー)	◎ (4サンプル/4日間)	○ (2サンプル/4日間)
結果解析	◎ (簡単)	○ (高度)
用途	生産工程 品質管理工程	研究開発
活用分野	電子部品・電子機器 食品・医薬品包装	有機デバイス



健康経営優良法人(大規模法人部門)

2年連続認定



※特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度（経済産業省）

健康経営宣言

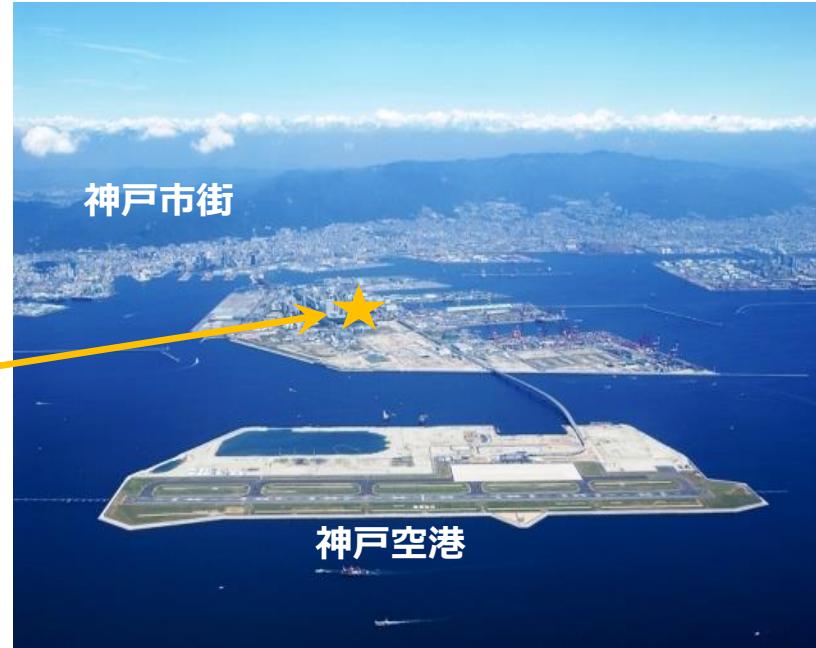
MORESCOは、従業員が心身ともに健康であることが、企業の持続的な発展に不可欠と考え、「一人一人が豊かな環境で育ち、新たな価値を育んでいく会社」を実現するため、従業員の健康づくりを推進していきます。

体制



本社・研究センター

moreesco



この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点における当社の判断に基づくものであり、今後、予告なしに変更することがあります。本資料記載の業績見通しや目標数値のみに全面的に依存して、投資判断を下すことによるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。
なお、当資料を無断で複写複製、配布することを禁じます。